【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2016-224226(P2016-224226A)
【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)
【年通号数】公開・登録公報2016-070
【出願番号】特願2015-109914(P2015-109914)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　7/10　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　7/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　7/10　C
Ｇ０２Ｂ　7/04
Ｇ０２Ｂ　7/02　E

【手続補正書】
【提出日】平成30年4月25日(2018.4.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザの操作により光軸を中心に回転する第１筒と、
前記第１筒の回転に伴って、前記光軸を中心に回転する第２筒と、
前記第１筒の回転を前記第２筒に伝達する突起部と、
前記突起部が貫通し、所定の長さの貫通溝を有する第３筒と、を備え、
前記貫通溝は、前記所定の長さ方向に対する溝幅が異なる領域を有する
レンズ鏡筒。
【請求項２】
前記突起部は、前記溝幅の狭い領域で前記貫通溝と接触する
請求項１に記載のレンズ鏡筒。
【請求項３】
前記突起部と前記第３筒とが相対移動する場合、前記溝幅の狭い領域における前記突起部と前記貫通溝との摩擦力は、前記溝幅の広い領域における前記突起部と前記貫通溝との摩擦力より大きい
請求項１又は請求項２に記載のレンズ鏡筒。
【請求項４】
前記第３筒に対して前記第１筒が回転するために必要なトルクは、前記貫通溝の前記溝幅によって変化する
請求項１から請求項３までのいずれか１項に記載のレンズ鏡筒。
【請求項５】
前記貫通溝は、前記光軸を中心とした周方向に長さを有し、
前記突起部は、前記第１筒が回転すると、前記貫通溝に沿って前記周方向に移動する
請求項１から請求項４までのいずれか１項に記載のレンズ鏡筒。
【請求項６】
前記光軸方向における前記第２筒と前記第３筒との位置関係は一定である

請求項１から請求項５までのいずれか１項に記載のレンズ鏡筒。
【請求項７】
請求項１から請求項６までのいずれか１項に記載のレンズ鏡筒を備える光学機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明は、ユーザの操作により光軸を中心に回転する第１筒と、前記第１筒の回転に伴って、前記光軸を中心に回転する第２筒と、前記第１筒の回転を前記第２筒に伝達する突起部と、前記突起部が貫通し、所定の長さの貫通溝を有する第３筒と、を備え、前記貫通溝は、前記所定の長さ方向に対する溝幅が異なる領域を有するレンズ鏡筒に関する。
また、本発明は、上記レンズ鏡筒を備える光学機器に関する。